

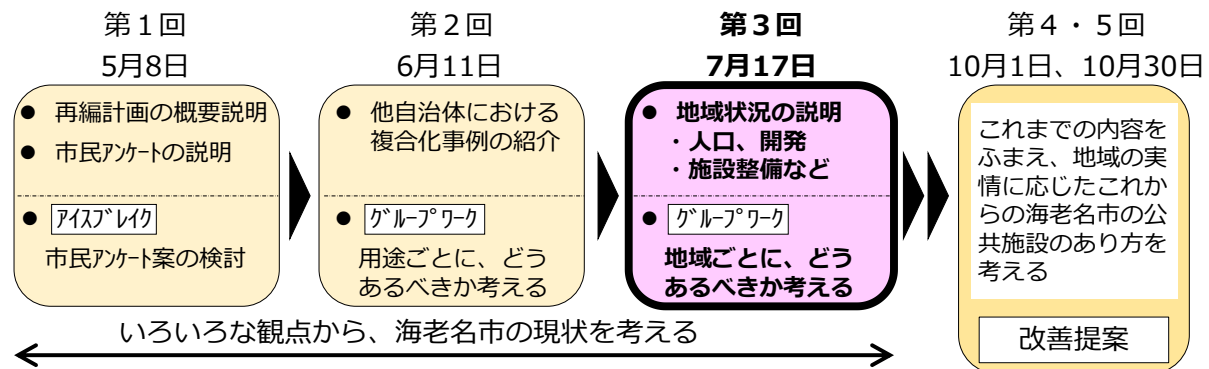
市民ワークショップ通信③

お問合せ先：海老名市役所 財務部営繕課 計画・修繕係 Tel.046-235-8451

海老名市の公共施設のあり方をみんなで考えています

海老名市では、公共施設再編（適正化）計画に関する市民ワークショップを5回にわたって開催し、自治会等の関係団体や高校生及び一般公募の方々による自由に活発な意見交換を行っています。

＜市民ワークショップの各回テーマ（予定）＞



第3回ワークショップを開催しました

第3回のテーマは「地域ごとにどうあるべきか考えよう！」ということで、30名の参加者が6班に分かれてワークショップを実施しました。

始めに、海老名市の各地域の状況を紹介し、グループワークの進め方を説明しました。グループワークでは、海老名市内の6地域を「北部・東柏ケ谷」「海西・国分」「大谷・南部」の3つのエリアに分けて、各エリアごとに2班ずつ検討しました。それぞれの班は担当するエリアの地図を見ながら「課題」と「魅力」をつかみ、「地域に必要なこと・望まれること」について意見を交換し、各自付せんに記入して模造紙に貼り付けた後、班ごとに意見を整理して、最後に全体で発表を行いました。

フォトギャラリー



グループワーク発表

■グループワークの成果



■主な発表内容

北部・東柏ケ谷

- ・自然も公園もあって子育て世代が散歩の際に寄れる。
- ・駅も多く大型の買物施設もあって便利だが、住宅が密集しており、交通面の安全確保や渋滞などが課題。
- ・山の上にあり地盤は強いが、土砂災害対策が必要。

海西・国分

- ・駅周辺には商業施設も多く便利だが、水害の危険も。
- ・自家用車に頼るから渋滞する。コミュニティバスなど公共交通を適正化すれば、渋滞も緩和する。
- ・他市からも人が集まる。魅力と情報の発信が課題。

大谷・南部

- ・圏央道で便利になったが、交通の便が悪くコミュニティバスの本数も少ない。高齢者の移動支援が必要。
- ・緑が豊かで果物や野菜がとれる。海老名SAに道の駅をつくり、地域の食材を使って活性化につなげる。

課題

魅力

意見

北部・東柏ケ谷

秋葉山古墳群はすばらしい



渋滞している

移動販売車充実、高齢者の買物サポート

小学校の教室が空いてきたら、老人福祉施設の検討をお願いしたい

人口増に対して施設の数が少ないのでは？

買物大型店

子供との散歩には公園等が多くて良い

傾斜地が多いため土砂災害想定地域が多い

海西・国分

アクセスが便利

駅周辺で用事が済む

浸水心配

大雨時危険

避難所

若者が自由に活動できる施設（音楽・演劇・撮影）

コミバスの時間の改定（早い時間、おそい時間）

商業施設が多い

広告・情報不足

自家用車に頼りすぎ

児童・生徒が自由に使える場が欲しい

バス路線増やす→渋滞減る

大谷・南部

大谷かぶきの施設

圏央道ができて便利になった

水害、浸水地域のそなえ

地元の食材、野菜、お花、温室の活用

SAに隣接した「道の駅」を作り、SA利用者を活用する

高齢化が進み、高齢者が暮らしにくくなっている

富士、丹沢の景勝地が多い

交通の便が悪い

自然が多く残されてすばらしい、このまま残したい

移動支援が必要（高齢者が多い、坂が多い）

第3回のまとめ



ファシリテーター

＜北部・東柏ケ谷地域＞

住宅地として住みやすい点が挙げられましたが、一方で、インフラの整備が問題点として指摘されました。教室が空いてきたら老人福祉施設と複合化するというアイデアも出て良かったと思います。

＜海西・国分地域＞

他市からの訪問者も多く集まるため、魅力を発信し、若い人をターゲットにした場所や仕掛けを設けることで、海老名市の若返りに繋がるのではないかとご指摘もありました。

＜南部・大谷地域＞

海老名SAや地元の農産物を活用した地域活性化のアイデアが出ていました。一方で、学校が遠いためスクールバスの充実という意見も出ていました。交通について課題があり、コミュニティバスがニーズと合っているか、もっと便利にしてはどうかといった問題も挙げられました。

